

別記
第1号様式 (第14条関係)

環境マネジメントシステム導入報告書

(宛 先) 京 都 府 知 事	平成24年7月17日
住所 (法人にあっては、主たる事務所の所在地) 東京都千代田区丸の内一丁目8番3号	氏名 (法人にあっては、名称及び代表者の氏名) カルビー株式会社 代表 取締役社長 伊藤 秀二 電話 03 - 5220 - 6222

環 境 マ ネ ジ メ ン ト シ ス テ ム の 名 称	カルビーグループ環境マネジメント (独自のシステム)
適 用 範 囲	カルビーグループ会社の事業場(本社、工場、営業所、事務所を含み、以下「事業場」という。)
導 入 年 月 日	2010年 4月 1日
認 証 番 号	
基 本 方 針	行動指針 カルビーグループの製品と事業活動の環境への影響を最小限にするため、10プロセスにおいて、天然資源を効率的に使用すること、持続的に管理された再生可能な資源を使用すること、廃棄物ゼロを目指す。また、教育啓蒙活動推進を通じて社内外の共存を図っていく。そして、事業領域特有のものとして、次の3つを優先する。 ①CO2の削減 ②生産段階における使用水の削減 ③廃棄物の削減
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標 (以下「目標」という。)	全社目標 ①CO2排出量 2009年度を基準年度として、総排出量または、原単位(売上高ベース)で、2020年度に11%(年率1%)削減する。ただし、カルビー側工場分を対象とする。 ②使用水量 ……現在検討中 ③廃棄物量 ……現在検討中 ただし、当工場においては、原単位の毎年1%削減
目標を達成するための取組の内容	省エネルギー (CO2) ……ポンプの制御変更、高効率照明への更新、生産設備の運転時間見直し 廃棄物排出量の削減 ……不良製品の削減
目標を達成するための取組の進捗状況	省エネルギー (CO2) ……ポンプの制御変更、高効率照明への更新、生産設備の運転時間見直し、蒸気配管の保温、その他の無駄な運転時間の削減 廃棄物排出量の削減 ……不良製品の削減
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	当初計画以上に取り組むことができています。 前々年までの3ヵ年計画で基準年度比で生産量は微増ながら、16.9%もの排出量を削減出来た。 生産効率の向上を推進したことで大きな実績となった。
事業活動に係る法令の遵守の状況	関連法規の遵守状況について1年に1回確認を行っている。 当工場においては、これまで違反及び行政当局からの指摘はなかった。
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	評価・見直しの必要性については、原則として1年に1回、検討している。

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合にのみ記入してください。